

進路だよりですよ NEWS 2015 TIMELY No. 10

2015年10月13日発行

私立の学校について!!



公立の学校の受検希望者は毎年多くいます。特に地元の公立の学校は、通学時間が短く経費もあまりかからないなどの理由から、選択しやすい学校になっています。

しかし、私立の学校にもさまざまな良い点があります。私立の学校には公立の学校では見られない特別な行事やユニークな学校祭など、特徴のある取り組みをしているほか、進学にも力を入れるようになってきました。私立の4年制大学への進学状況を見ていくと、中堅的な公立高校よりも私立高校からの方が進学しやすい状況が多く見られるようになりました。特に学習成績が良く、自信がある人は別として、平均くらいの成績の人が大学まで進学しようとするためには一番確実な選択肢になってきました。

その私立の学校(高等学校・専修学校)の入学試験は現在2回行われることがほとんどです。1回目の試験を「推薦入試」、2回目の試験を「一般入試」といいます。

推薦入試には、条件があります。まず、「その学校が第一希望で他は受験しない」ことです。そして「推薦」されるに相当する学力が必要になります。また問題行動がないことも条件となっています。

一般入試は、他の私立の学校や公立高校と合わせて受験してもかまいません。各校の合格・不合格の結果によっては、その学校に合格しても入学しないことも選択できます。「他を受験できない」ことで推薦入試は不利のように感じますが、現在の私立の学校は、定員のかなりの割合を推薦入試の受験者でとっています。少ない学校で定員の50%、多い学校では定員の90%を推薦入試で受験した生徒をとっています。一般入試では少なくなった残りの定員を争って受験をすることになりますから、一般入試で合格することは、推薦入試で合格するよりむずかしくなります。したがって、一番進みたい学校が私立の学校であるならば、一般入試ではなく、推薦入試で受験した方が有利になります。また公立高校を受検する予定の人は、私立の学校は一般入試で受験することになります。

11月中には、私立の学校を推薦入試で受験するのか、また一般入試で受験する場合、どの学校を選ぶのかを決定していかなくてはなりません。これまで以上に担任の先生との相談が必要となります。ご家庭でもよく相談を進めていってください。

私立高校・専修学校入試日程!!



日程	2月3日(水)	2月4日(木)	2月5日(金)
共学	愛工大名電、栄徳、菊華 中部第一、星城、誉、享栄 名古屋国際、滝	名経大市邨、春日丘、愛知 日本福祉大付、名古屋大谷 名経大高蔵、同朋	中京大中京、東邦、至学館 名城大附、東海学園 愛知黎明
男子	東海、名古屋工業	名古屋、愛産大工業	
女子	桜花学園、啓明学館	名古屋女子大学、聖霊	椋山、聖カピタニオ
専修	名古屋工学院、東海工業 名古屋情報、緑ヶ丘女学院	菊武ビジネス、名古屋調理 名古屋福祉	名古屋総合美容 推薦入試は1月28日(木) (東海・滝高校は実施しません)